

大学コンソーシアム大阪 SD研修プログラム シラバス

プログラム名	SD講師養成プログラム ～伝える楽しみを実践する～		
実施日時	2017年10月23日(月) 9:45～18:00 (情報交換会 18:20～) (開場:9:30)		
実施会場	大阪市立総合生涯学習センター 第2研修室 ほか (大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル6階 東側)		
担当講師・ファシリテーター	秦 敬治(追手門学院大学 教授、教育開発センター長、学長補佐) 米澤 慎二(追手門学院大学 理事長・学長室 審議役) 塩川 雅美(追手門学院大学 教育開発センター 客員研究員)  3名とも文部科学省教職員能力開発拠点である愛媛大学教職員能力開発拠点のSDCとして認定されている。 (SDC:スタッフ・デベロップメント・コーディネーター)		
代表講師略歴	<p>秦 敬治 1986年3月に西南学院大学商学部卒業後、学校法人西南学院にて大学職員を20年間務め、2006年4月から愛媛大学教育企画室副室長としてFD・SDの中核を担い、SPODの立ち上げにも関わる。また、学生のリーダー養成にも関わり、愛媛大学リーダーズ・スクールや西日本学生リーダーズ・スクールの立ち上げを行った。2014年9月に追手門学院大学副学長に就任し、2017年4月から現職。学長補佐に加えて、FDの中核を担う教育開発センター長、学生リーダー養成を行う追手門学院大学リーダー養成コース長も務め、教員、職員、学生の能力開発に取り組んでいる。専門は高等教育経営論(教育学博士)。</p> <p>&lt;講師からのメッセージ&gt; 「人に教えることほど、勉強になることはない。人の成長の助けとなろうとすることほど自らの成長になることはない」(ドラッカー、現代の経営(上)P.262)自分の強みを活かし、SDの講師としてのスキルを学びましょう。</p>		
受講可能人数	25名(最大30名まで)		
主な受講対象者	各大学のSD担当職員、大学コンソーシアム大阪のSDプログラム受講者(初任者研修プログラム開発セミナー、国際交流担当者研修、コミュニケーション実践)、意欲のある大学職員(自分の強みを活かしSD講師をやってみたい方)		
プログラム概要	自大学及び大学コンソーシアム大阪のSD講師の養成を目的とし、自らの強みを活かすSD講師を育成する。そのため、改めて自らの強み(専門)を引き出すために、スタッフ・ポートフォリオを作成するとともに、SD講師として必要なスキルを習得する。		
プログラム内容	時間	内容(プログラム中に休憩を入れます)	講師(ファシリテーター)
	① 9:30～9:45	受付	
	② 9:45～10:00	オリエンテーション	事務局・米澤
	③ 10:00～10:15	アイスブレイク	塩川
	④ 10:15～10:45	SD講師の必要性	職員がSD講師をするメリット 米澤
	⑤ 10:45～11:45	講師に必要なスキル	アクティブラーニング手法を学ぶ 秦
	⑥ 11:45～12:15	到達目標の作成方法	シラバスの作成方法から学ぶ 秦
	12:15～13:15	昼食休憩	(弁当を用意します)
	⑦ 13:15～17:15	プレゼンテーション実践	プレゼンを実践する 秦・米澤・塩川
	⑧ 17:15～17:30	事後課題の説明	米澤
	⑨ 17:30～18:00	振り返り	質疑応答 秦・米澤・塩川
	⑩ 18:20～20:20	情報交換会	ネットワーク作り
プログラムの到達目標	(1)スタッフ・ポートフォリオの必要性を説明することができる。 (2)自分の強みを説明することができる (3)SD講師の必要性を説明することができる (4)プレゼンテーションのスキルを3つ以上説明することができる		
事前課題	受講決定後、送付する見本を基にスタッフ・ポートフォリオを作成し、研修当日持参。 (約3～4時間必要)		
事後課題	自分の強み(専門)を活かしたSDプログラム(90分～120分)を作成する。 (受講後1ヶ月以内に作成。)		
受講にあたっての連絡事項等	「情報交換会」は志を同じくする仲間との情報交換、ネットワーク作りの場であるとともに、直接講師に個別の相談ができる得難い機会です。できるだけ参加してください。		